

『合併に関するアンケート』に記入していただいた合併に対する主な意見等をご紹介します。

(自由意見記入総件数 622 件)

### 【“賛成”を選択した方の意見から】

問題点は山積みで、この先市町村が生き残っていくのはとても大変だと思います。15 年間は良くてその先はどうするのですか、子供達の時代になってそれを負わせるより、今の自分達が努力して良くなるのでしたら今回の合併に賛成です。(40 代・女性)

合併に関しての疑問点というよりも、これまでの他町の町政の問題点が合併の障害となっているように思えます。しかし、これを協力して解決、改善することが新体制を一体とする上でも大切なのではないのでしょうか。(40 代・男性)

当面しばらくはデメリットが多くても、将来の子孫のためにできるかぎり各町の調整を行って小異を乗り越え、地域全体が発展することを期待し、合併することが望ましいと考えます。(70 歳以上・男性)

### 【“反対”を選択した方の意見から】

井川町、五城目町、八郎潟町との三町合併では、本来の合併の効果が余り出ないように思います。少なくとも 5 町以上が合併して(人口 3 万人以上)ほしいと思います。(50 代・男性)

井川町は数十年間にわたり町長を始め、行政一丸となって住みよい町づくりのため頑張ってきた。合併資料を見て、各町の状況を知り、とても合併は出来ないと思いました。(60 代・男性)

問題点が多すぎる。本所が井川町であれば余地がある。どの町も良いところ悪いところを洗いざらい出し合うまで合併は早い。したがって今回は反対です。(70 歳以上・男性)

### 【“問題解決してから合併すべき”を選択した方の意見】

将来の為にきっちり問題点を解決して、三町の子供達の未来の為に合併するべきです。(30 代・女性)

今、急いで合併する理由がみつからないような気がする。合併特例債も魅力に欠ける。(40 代・男性)

3 町の債務を明確にして旧町の負担責任を町民に周知させること。決して無理な合併は止めること。合併は未来を明るく楽しい町を作るための時勢だと思います。(50 代・男性)

合併資料を見た限りでは、3 町間の現在の状況では合併は無理があるように思います。しかし、政府の政治方針が 20 年先まで変わらないはずもないと思います。そうした場合、合併しない町村に対しては交付金や補助金等に格差が出てくる可能性はないのでしょうか。若者が流出し、高齢者だけの井川町になってしまうのではないのでしょうか。(50 代・女性)

合併についての町民アンケートの結果は今回も賛否いずれも単独では過半数に達しなかった。前回調査(昨年 10 月)と比較すれば、賛成が 47・8% から 26% と大幅に減じ、反対が 19・3% から 39・3% と増加した。一方、来年 3 月の合併申請にこだわらず、問題点を解決してからが 33・7% を占めた。これは将来の合併の必要性は認めつつも、今回の合併には賛成とはいかないものと判断したと受け止めている。いずれにしても町民の合併への合意形成は未だ至っていない、と考

いのは新町建設計画。町づくり構想と財政計画、基本的な建設事業がセットで、いわゆる新町のビジョン。本庁や支所のあり方を含めた行政機構や



## 町長日記抄

齋藤正寧

えざるを得ない。スケジュール的には 12 月議会で合併するか否かの方向性を明確にした。合併協で合意に至っていない。

財産の引き継ぎなど主要部分だ。これまで問題として議論されているのは正職員が同一規模の団体と比べ 100 人多いこと。過剰分の人件費が 39 億円

余にのぼり、今回の合併優遇策である合併特例債発行額に匹敵する。施設の統廃合や臨時職員の整理が必要ではあるが、この点で折り合いがつ

いていない。合併後に定員適正化計画を作るといふ提案だが、効率的な行政になるのかどうか? 合併のため臨時職員を一挙に解雇することが妥当なのかどうか? また、五城目町開発公社は 16 年度で土地取引は廃止する方向だが、町の施設管理を担当しており、25 人前後の職員が残る見込み。100 人も正職員が多いのにはどうか? これまで公社問題について論議が集中しているが、より重要なのは町づくり計画。10 月の法定協にやっとな提案され、本格的な議論にはなっていない。ま

た、事業も各町の積み残し分を寄せ集めた感が強く、三町共通の夢を描くことが欠けているとの指摘もある。行政機構案も合併懇談会発足時からの懸案だったが提示されたのは 10 月と遅くなった。15 年後に支所体制は 7 人と見込まれ、権限も含め、どんな仕事が可能なのかなど疑問も呈されている。今後の法定協開催予定は 12 月 24 日。あと一回で問題を丸のみし、合併を選択するのかが、それとも合併協を離脱するか、二者択一の選択の時が来た。

## 市町村合併を考える

## 調査の状況

対象者：5,077人  
(11月1日現在18歳以上の町民)  
 内訳 男性 2,358人  
 女性 2,719人  
 回答件数：4,683件  
(うち白紙回答32件)  
 回答率：92.2%

## アンケート集計結果まとまる

11月、18歳以上の町民を対象に行われた『合併に関する町民アンケート』の集計結果がまとまりましたので、お知らせします。

このアンケートは10月下旬に開催された合併座談会で説明してきたとおり、新町の姿を描いた新町まちづくり計画のほか、比較検討するために合併できなかった場合の町の状況等をできるかぎり明らかにし、町民のみなさんから五城目町・八郎潟町との3町合併の意向をお聞かせいただいたものです。

## “合併に反対”が約4割

今回のアンケートは設問を三町合併の賛否、もしくは合併特例債を発行できる来年3月までの合併申請をすべきか否か、ということの一点に絞って実施しました。結果は“合併に賛成”が26%、“合併に反対”が賛成意見を上回る39.3%、また先月、町内全戸に配布した合併座談会資料や広報いかわ11月号でお知らせした合併協議の課題点等を明らかにした上で、“来年3月の合併申請にこだわらず、問題点などを解決してから合併すべき”が33.7%との結果になりました。

今回のアンケート調査の結果を受けて、12月定例議会等で今後の対応を協議していきます。

## 問1 あなたの性別は

1 男性	2,130件(45.8%)
2 女性	2,467件(53.0%)
無記入	54件(1.2%)
計	4,651件(100.0%)

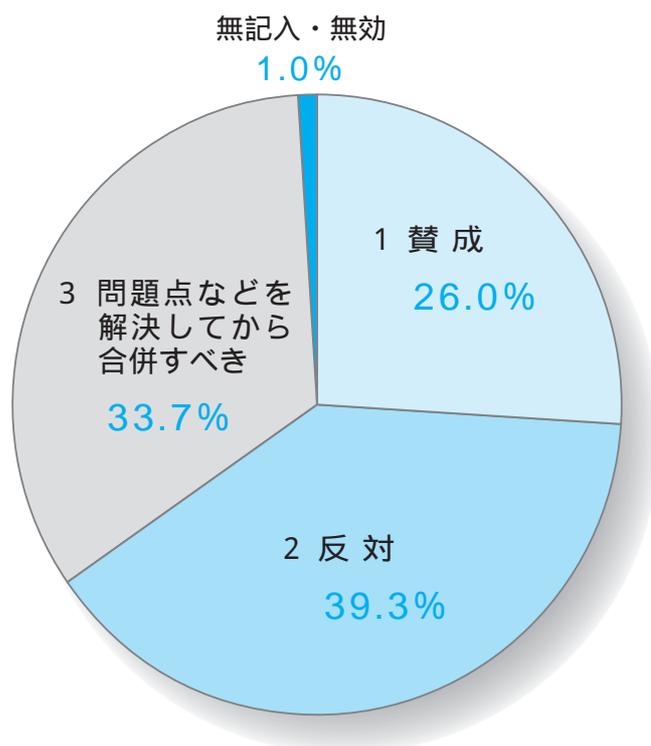
## 問2 あなたの年代は

1 10代	94件(2.0%)
2 20代	558件(12.0%)
3 30代	569件(12.2%)
4 40代	672件(14.4%)
5 50代	929件(20.0%)
6 60代	779件(16.7%)
7 70歳以上	1,028件(22.1%)
無記入	22件(0.5%)
計	4,651件(100.0%)

## 問3 あなたは五城目町・八郎潟町との来年3月の合併申請について、どのようにお考えですか

1 賛成です	1,209件(26.0%)
2 反対です	1,826件(39.3%)
3 問題点などを解決してから合併すべき	1,566件(33.7%)
無効・無記入	50件(1.0%)
計	4,651件(100.0%)

## 問3 あなたは五城目町・八郎潟町との来年3月の合併申請について、どのようにお考えですか



## 農産物出品数

昨年を大きく下回る

今年の産業祭・文化祭が十月三十日・三十一日の二日間の日程で、役場庁舎および町農村環境改善センター、健康センターを会場に行われました。

産業祭部門は役場大会議室に水稲や野菜・果物などの農産物、工夫を凝らした加工食品などが並びました。産業祭出品物の審査にあたった、秋田地域農業改良普及センターから、今夏からの三度にわたる台風の直撃に見舞われ、農産物の出品点数は昨年を大きく下回る八十点でしたが、出品されたものは農家の栽培技術・対応技術の高さを十分に示すものでした」と審査講評がありました。

また会場内ではパソコンによる無人ヘリコプターシミュレーション、暖房器具や調理器具などの商品展コーナーも設けられ、関心を集めていました。

## 文化祭展示・福祉展・健康展

文化祭展示部門は農村環境改善センターと役場二階会議室等を会場に展示され、草木染めやパッチワークなどの手芸をはじめ、絵画・生け花などが会場を彩りました。福祉展・健康展は健康センターを会場に行われ、老人福祉展に二六五点、身体障害福祉展に六二点の出品が集まりました。健康展では食生活推進協議会により、栄養満点のきやのこ汁試食が行なわれ、来場者は一足早い新春の味覚に舌鼓を打ちました。

第33回

# 文化祭

第41回

# 産業祭



## 井川町産業祭表彰者

### 秋田県知事賞

鎌田 研造(小今戸) 野菜の部・長ネギ  
鈴木 恭子(保野子) 食品加工・桜漬  
秋田県農業協同組合中央会会長賞

鎌田 研造(小今戸) 水稲の部・あきたこまち  
伊藤 和弘(大野地) 果樹の部・りんご  
秋田地域農業改良普及センター所長賞

佐藤 健治(田中) 野菜の部・大根  
伊藤 澄子(大倉) 食品加工・梅みそ  
優秀賞

湊 テル(大倉) 食品加工・

丸なすのふかし漬け

### 優良賞

草階 正二(八幡) 野菜の部・ナス  
伊藤 ミヨ(大倉) 果樹の部・キウイ  
鷲谷トミ子(横岡) 食品加工・

古代米とリンゴの羊かん

### 努力賞

渡部 正一(小泉) 水稲の部・あきたこまち  
遠藤美和子(小今戸) 野菜の部・長いも  
石井ハルエ(八幡) 食品加工・

サトイモのシソ漬け

齋藤 金作(赤沢) その他、雑穀・山いも  
小林 仁志(施田) その他、雑穀・小豆  
奨励賞

鷲谷 鈴子(海老沢) 食品加工・

カボチャの寒天

### 特別賞

鈴木 雅子(保野子) 野菜の部・サツマイモ  
安田アサエ(寺沢) 果樹の部・庄内柿  
武埜 工三(仲台) 食品加工・かぼちゃまん  
渡部 曜子(小泉) その他、雑穀・大豆



産業・文化の振興に  
尽力された方を表彰

平成十六年度産業功労者に三浦喜美雄さんら四人、また文化功労者に伊藤孝太郎さんが決まり、十月三十一日、井川町農村環境改善センターで産業功労者・文化功労者表彰が行なわれました。



産業功労者



**三浦喜美雄さん（赤沢）**  
長年にわたり上井河農業協同組合、あきた湖東農業協同組合役員として活躍されるとともに土地改良区役員などの要職を務め、豊富な経験と卓越した識見をもって本町農業の振興に貢献されました。



**鈴木 孝さん（小泉）**  
長年にわたり土地改良区役員として活躍されるとともに共有財産組合議員などの要職を務め、豊富な経験と卓越した識見をもって本町農業の振興に貢献されました。



**伊藤八十治さん（今戸）**  
長年にわたり下井河農業協同組合役員として活躍されるとともに農業委員、土地改良区役員などの要職を務め、豊富な経験と卓越した識見をもって本町農業の振興に貢献されました。



**藤田多鶴子さん（田中）**  
長年にわたり井川町生活研究グループ会長として活躍されるとともに女性農業士、産直生産グループ会長などの要職を務め、豊富な経験と卓越した識見をもって本町農業の振興に貢献されました。



**伊藤孝太郎さん（今戸）**  
長年にわたり民謡・秋田万歳など優れた芸能で県内外の活躍はもとより、海外での友好親善に尽くされるとともに芸術に対する高い識見をもって人材の育成に尽力され、芸術文化の振興の多大な貢献をされました。

文化功労者

老人福祉展入賞者

特別賞

小林 次子（館岡）手芸・刺し子  
小林 純一（横岡）彫刻・だるま

奨励賞

浅野ユリ子（街道）リフォーム・コート  
伊藤金之助（羽立）わら工芸・鶴亀  
遠間タミエ（新屋敷）編み物・スカート  
鈴木 ヤハ（保野子）編み物・セーター

努力賞

伊藤 久子（坂本）リフォーム・ちりめん小物、手提げ袋  
湊 ます（坂本）リフォーム・手提げ袋  
伊藤ミヨ子（宇治木）和裁・絞り染め綿入りはんでん

伊藤八ギエ（上村）リフォーム・古着利用袋  
藤田 チエ（新屋敷）リフォーム・刺し子ショルダーバッグ

小武海トキエ（新屋敷）折り紙

身体障害者福祉展入賞者

特別賞

杉澤 守雄（桐ヶ丘）紙ねんど・楽しい動物たち  
鷲谷金一郎（桐ヶ丘）切り絵・家族だんらん

奨励賞

安田 一男（桐ヶ丘）写真・花  
相馬利美子（桐ヶ丘）絵・えんぴつ画

努力賞

加藤 和子（坂本）草花・寄せ植え  
船木 金作（桐ヶ丘）切り絵・つばき



# 功績をたたえて！

町の内外で各分野において活躍されている方、地域活動を支えてくださっている方がたくさんいます。そうした活動が認められ、表彰された方々をご紹介します。

## 全国老人クラブ 連合会表彰

財団法人全国老人クラブ連合会

優良老人クラブ連合会表彰

井川町老人クラブ連合会

井川町老人クラブ連合会は優良老人クラブ連合会として全国老人クラブ連合会長表彰を受けました。

結成以来四十年を迎え、会員の親睦活動や地域の園児・児童との交流、各種スポーツ大会や健康教室の開催、花壇づくり、兵庫県西宮市老人クラブ連合会との姉妹提携活動など地域に開かれた老人クラブづくりを努めたことにより、この度の表彰となりました。

去る十月十一日、千葉県幕張市で開催された第三十三回全国老人クラブ大会で表彰式が行なわれました。



## 更生保護表彰

全国保護司連盟会長表彰



小林 繁美さん  
( 施 田 )

施田町内の小林繁美さんに第三十七回秋田県更生保護研修大会において、全国保護司連盟会長表彰が授与されました。小林さんは昭和五十六年に保護司に就任、現在に至るまでの長きにわたり、犯罪予防や更生保護活動に努められ、地域の安全のために尽力されてきた功績が認められたものです。

秋田保護観察所感謝状



斎藤 アキさん  
( 赤 沢 )

赤沢町内の斎藤アキさんに秋田保護観察所長感謝状が贈られました。斎藤さんは井川地区更生保護女性の会会長として、社会を明るくする運動や犯罪予防への協力活動に努められました。

更生保護女性の会では社会を明るくする運動のほか、こどもセンターへの手作りぬいぐるみの寄贈や児童福祉施設千秋学園とのだまこもち鍋交流などの活動も行なっています。

## 秋田県知事表彰

統計功績者



畠山 俊幸さん  
( 海老沢 )

畠山俊幸さんは統計功績者として秋田県知事より表彰されました。畠山さんは平成元年に統計調査員に任命されて以来、統計調査の重要性と必要性を深く認識され、迅速かつ正確な統計調査に尽くされた功績が認められ、この度の受賞となりました。

栄養改善事業功労者

斎藤 カツ子さん ( 赤 沢 )

斎藤カツ子さんは栄養改善事業功労者として秋田県知事より表彰されました。斎藤さんは平成三年より町生活改善推進員として、栄養バランスのとれた食事指導、減塩運動・貧血予防など住民の健康づくりの基礎と

なる食生活改善に尽力されてきました。こうした実践活動の功績が認められ、この度の表彰となりました。

水道関係功労者

半田 武一さん ( 田 中 )

井川町水道課・半田武一さんは水道関係功労者として秋田県知事より表彰されました。

半田さんは長年にわたり水道行政に従事し、水道関連施設の維持管理に尽くされた功績が認められ、この度の表彰となりました。

## 中学生の税についての 作文コンクール

秋田北地区納税貯蓄組合

連合会長賞



森田 康平さん  
( 小今戸 )  
井川中 3 年

税を正しく理解してもらい、税に対する意識を高めてほしいと中学生を対象に行なわれている『中学生の税についての作文コンクール』で、井川中学校三年生・森田康平さんが秋田北地区納税貯蓄組合連合会長賞を受賞しました。